



地場産業を活性化

房総地域の漁港では、獲れたての魚料理やお土産品を求めて訪れる観光客が増加。

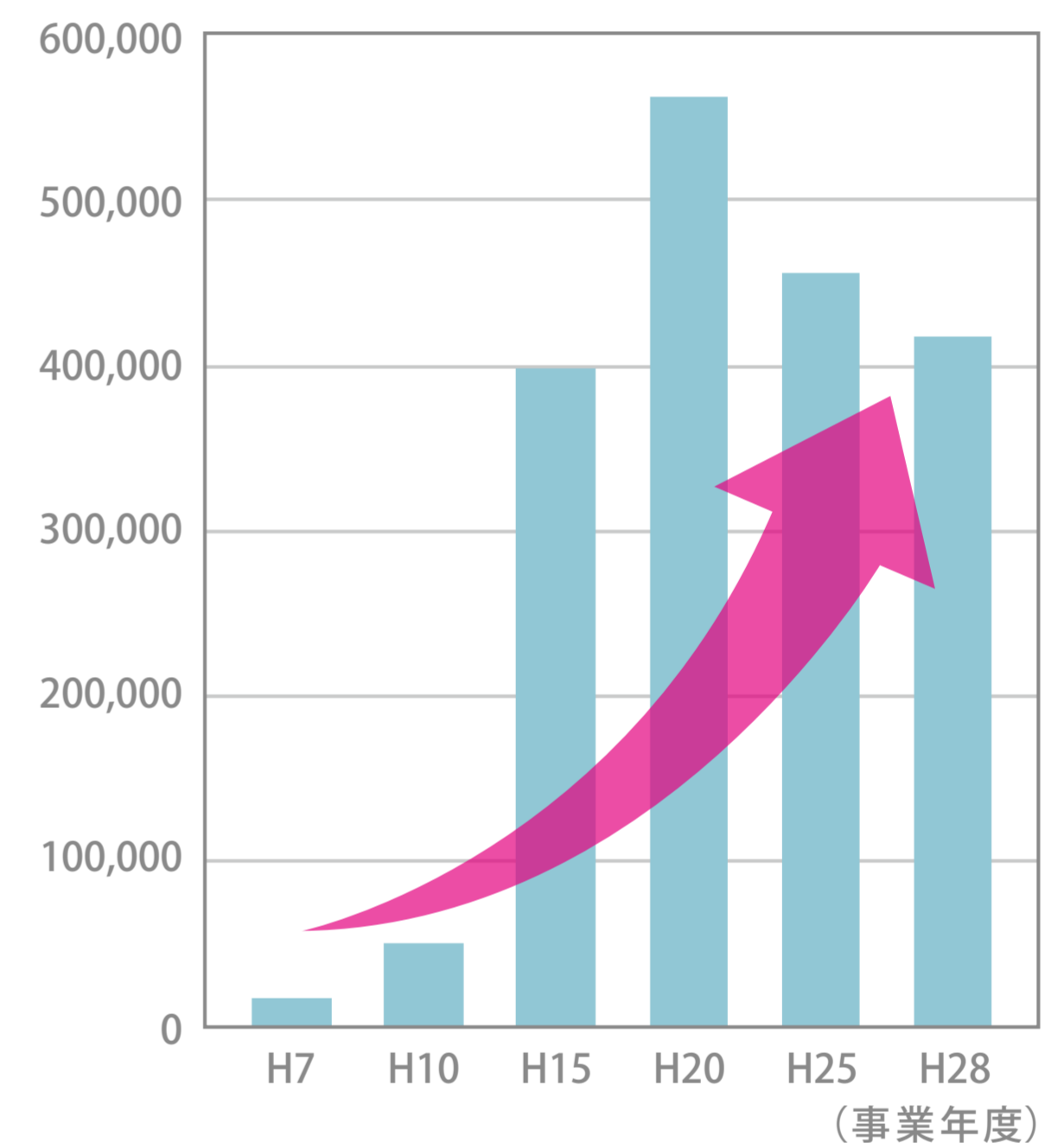
保田漁港直営店から始めた「お食事処ばんや」は、今では食べる・遊ぶ・泊まるが楽しめる人気の複合施設として、年間40万人が来店するまでに成長。



《保田漁協直営食堂「ばんや」の経過》

- 平成7年 魚食普及食堂として「ばんや」オープン
(廃材を利用したコンテナハウスからスタート)
- 平成12年 店舗の増設・リニューアル
- 平成14年
- 平成15年 日帰り・宿泊の温泉「ばんやの湯」をオープン
- 平成20年 団体・コース料理の新館をオープン

(人) 「ばんや」の来客数の推移



出典：保田漁協ばんや(株) データ

アクアラインの開通により首都圏からのドライブの目的地として認識され、週末のランチタイムは行列ができるほどの人気



食堂事業において、土・日曜日に60~70名の地元スタッフを雇用。地域の雇用と所得を支えている。

あなたに、ベスト・ウェイ。



東京湾アクアラインが人と人をつなぐ! オリジナルアニメ「ありがとう20年、そしてこれからも」を今すぐCHECK!!

